

牛久：学校周辺に見る自然

第18号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年6月3日発行

＜ 初夏しよかのみずべ公園 ～⑨カラスノエンドウに来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きものかんさつ観察、今回はカラスノエンドウと、そこに来た虫たちの紹介しょうかいです。



花のつけ根にもみつを出すところがあり、アリやハナアブなどが来る。

カラスノエンドウの花にはミツバチなどがよくみつを吸いに来ますが、花のつけ根にもみつを出すところがあり、アリやハナアブのなかまがそのみつを求めてやって来ます。これには、アリを集めて葉を食べる虫を追いはらうはたらきがあるようです。



カラスノエンドウの汁しるを吸うマメアブラムシと、そこに集まるアリ（左）。アブラムシを食べるナナホシtentウ（右）。

茎くきの先の方にはたくさんの黒いアブラムシ（マメアブラムシ）がついていることも多く、そこにもアリはやって来ます。アリはアブラムシから甘いつゆあまをもらい、アブラムシを食べるてんとう虫を追いはらってくれることもあるようです。マメアブラムシを食べるナナホシtentウも見つけられました。



その他、花に来る虫を捕まえるマミジロハエトリ（クモ）もかかれていました。校庭には、名前なまえの由来通りまっ黒くろに熟じやくした実をつけたものもありました。【理科支援員：宮内】

ハナアブなどを待ちぶせるマミジロハエトリ（左）と、カラスのようにまっ黒くろに熟じやくしたカラスノエンドウの実（右）。